260626

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年４月10日設定）	
運用方針	南アフリカ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて南アフリカランド建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	南アフリカ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	南アフリカランド建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第２計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンド

第36期（決算日：2015年４月20日）
第37期（決算日：2015年５月18日）
第38期（決算日：2015年６月18日）
第39期（決算日：2015年７月21日）
第40期（決算日：2015年８月18日）
第41期（決算日：2015年９月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンド」は、去る９月18日に第41期の決算を行いましたので、法令に基づいて第36期～第41期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱ＵＦＪ投信株式会社は2015年７月１日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱ＵＦＪ国際投信株式会社」となりました。

三菱UFJ国際投信
MUFG
東京都千代田区有楽町一丁目12番１号
URL:http://www.am.mufg.jp/

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル TEL.0120-151034
（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目 次

Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
◇運用経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
◇今後の運用方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
◇１万口当たりの費用明細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
◇売買及び取引の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
◇利害関係人との取引状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
◇組入資産の明細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
◇投資信託財産の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
◇損益の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
◇分配金のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
◇お知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

マザーファンドのご報告

◇南アフリカ債券マザーファンド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ南アフリカ		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（円ベース）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2013年４月18日)	11,364	45	6.8	431.62	6.2	98.0	－	345
13期(2013年５月20日)	11,692	45	3.3	449.38	4.1	97.3	－	355
14期(2013年６月18日)	9,573	45	△17.7	371.96	△17.2	96.2	－	293
15期(2013年７月18日)	10,229	45	7.3	394.65	6.1	97.2	－	314
16期(2013年８月19日)	9,444	45	△ 7.2	370.00	△ 6.2	96.9	－	291
17期(2013年９月18日)	10,014	45	6.5	393.21	6.3	96.3	－	310
18期(2013年10月18日)	10,080	45	1.1	396.79	0.9	97.4	－	312
19期(2013年11月18日)	9,772	45	△ 2.6	387.68	△ 2.3	96.1	－	307
20期(2013年12月18日)	9,789	45	0.6	390.37	0.7	96.3	－	312
21期(2014年１月20日)	9,349	45	△ 4.0	378.52	△ 3.0	96.5	－	298
22期(2014年２月18日)	9,048	45	△ 2.7	364.18	△ 3.8	96.5	－	293
23期(2014年３月18日)	9,101	45	1.1	370.94	1.9	96.2	－	295
24期(2014年４月18日)	9,512	45	5.0	389.67	5.1	95.9	－	306
25期(2014年５月19日)	9,709	45	2.5	399.17	2.4	96.0	－	312
26期(2014年６月18日)	9,170	45	△ 5.1	379.56	△ 4.9	95.1	－	299
27期(2014年７月18日)	9,362	45	2.6	394.55	3.9	95.4	－	305
28期(2014年８月18日)	9,527	45	2.2	398.31	1.0	96.2	－	307
29期(2014年９月18日)	9,767	45	3.0	411.66	3.4	96.4	－	315
30期(2014年10月20日)	9,614	45	△ 1.1	406.17	△ 1.3	96.2	－	310
31期(2014年11月18日)	10,611	45	10.8	452.70	11.5	96.8	－	336
32期(2014年12月18日)	10,153	45	△ 3.9	431.75	△ 4.6	92.5	－	321
33期(2015年１月19日)	10,618	45	5.0	457.22	5.9	96.3	－	335
34期(2015年２月18日)	10,511	45	△ 0.6	455.40	△ 0.4	96.1	－	332
35期(2015年３月18日)	9,931	45	△ 5.1	432.53	△ 5.0	95.8	－	314
36期(2015年４月20日)	10,024	45	1.4	439.38	1.6	96.6	－	316
37期(2015年５月18日)	10,191	45	2.1	450.61	2.6	96.4	－	322
38期(2015年６月18日)	9,800	45	△ 3.4	434.38	△ 3.6	95.3	－	313
39期(2015年７月21日)	9,933	45	1.8	444.86	2.4	94.2	－	317
40期(2015年８月18日)	9,572	45	△ 3.2	432.11	△ 2.9	94.9	－	303
41期(2015年９月18日)	8,752	45	△ 8.1	399.52	△ 7.5	94.8	－	277

（注）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注）基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
（注）ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ 南アフリカ（円ベース）は、ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）のサブインデックスです。ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）とは、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。
（注）外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		（参考指数）ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ南アフリカ		債券組入比率	債券先物比率
			騰落率	（円ベース）	騰落率		
	（期首）	円	％		％	％	％
	2015年３月18日	9,931	－	432.53	－	95.8	－
第36期	３月末	10,030	1.0	437.89	1.2	95.5	－
	（期末）						
	2015年４月20日	10,069	1.4	439.38	1.6	96.6	－
	（期首）						
	2015年４月20日	10,024	－	439.38	－	96.6	－
第37期	４月末	10,196	1.7	450.86	2.6	96.3	－
	（期末）						
	2015年５月18日	10,236	2.1	450.61	2.6	96.4	－
	（期首）						
	2015年５月18日	10,191	－	450.61	－	96.4	－
第38期	５月末	10,138	△0.5	448.19	△0.5	95.9	－
	（期末）						
	2015年６月18日	9,845	△3.4	434.38	△3.6	95.3	－
	（期首）						
	2015年６月18日	9,800	－	434.38	－	95.3	－
第39期	６月末	9,813	0.1	436.86	0.6	95.2	－
	（期末）						
	2015年７月21日	9,978	1.8	444.86	2.4	94.2	－
	（期首）						
	2015年７月21日	9,933	－	444.86	－	94.2	－
第40期	７月末	9,691	△2.4	433.61	△2.5	94.5	－
	（期末）						
	2015年８月18日	9,617	△3.2	432.11	△2.9	94.9	－
	（期首）						
	2015年８月18日	9,572	－	432.11	－	94.9	－
第41期	８月末	8,987	△6.1	407.30	△5.7	94.7	－
	（期末）						
	2015年９月18日	8,797	△8.1	399.52	△7.5	94.8	－

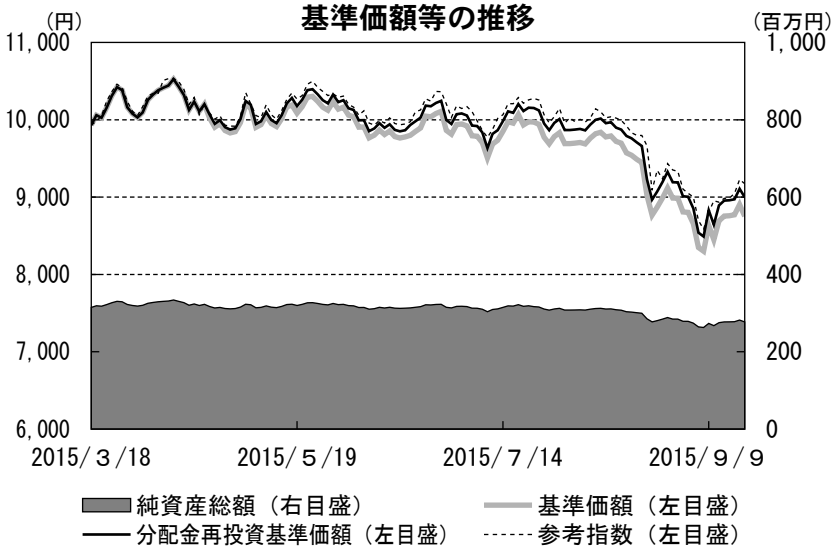
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第36期～第41期：2015/３/19～2015/９/18）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ9.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



第36期首　：　9,931円
第41期末　：　8,752円
（既払分配金　　270円）
騰落率　　：　－9.4%
（分配金再投資ベース）

・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

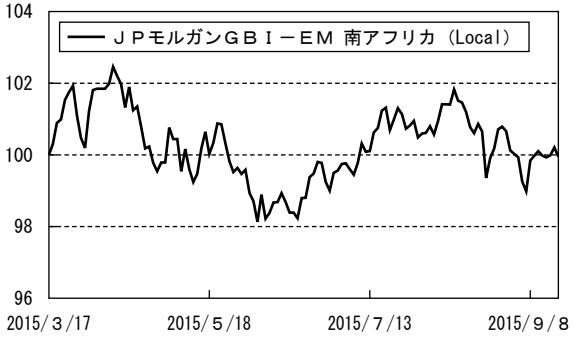
基準価額の主な変動要因

下落要因	南アフリカの金利が上昇したことや、南アフリカランドが対円で下落したことなどがマイナス要因となりました。

投資環境について

（第36期～第41期：2015/３/19～2015/９/18）

債券市況の推移
（当作成期首を100として指数化）

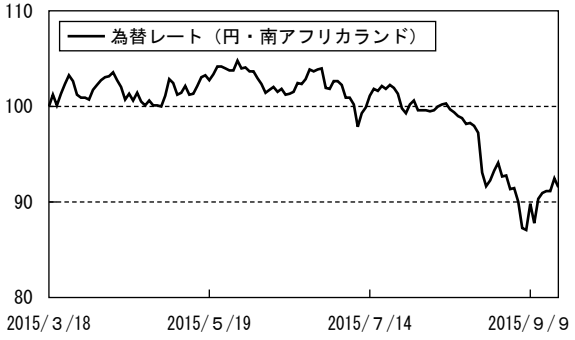


（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・南アフリカの債券市場では、金利は上昇しました。中国をはじめとした世界経済の先行き不透明感の高まりなどを背景に株式市場が下落するなか、投資家のリスク回避姿勢が高まり、南アフリカなどの新興国債券の金利は上昇しました。短期ゾーンの金利は、同国中央銀行がインフレ抑制のために政策金利を0.25%引き上げたことなどが上昇要因となりました。なお、指数ベース（ローカルベース）では利子収益を享受したことから、概ね横ばいとなりました。

為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

・南アフリカランドは対円で下落しました。作成期首から2015年７月までは概ね横ばいで推移したものの、８月に中国の人民元実質切り下げなどを受けて中国をはじめ世界的に株式市場が下落したことを背景に投資家のリスク回避傾向が強まり、円が上昇する展開となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンド＞
・当ファンドは南アフリカ債券マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）への投資を通じて南アフリカランド建ての債券に実質的な投資を行いました。

＜南アフリカ債券マザーファンド＞
基準価額は当作成期首に比べ8.7%の下落となりました。

・南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は参考指数比中立を維持しました。
・債券の利子収入は基準価額にプラス要因となったものの、南アフリカの金利が上昇したことや、南アフリカランドが対円で下落したことなどはマイナス要因となりました。

（ご参考）
利回り・デュレーション

作成期首（2015年３月18日）

最終利回り	7.8%
直接利回り	7.7%
デュレーション	6.9年

・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

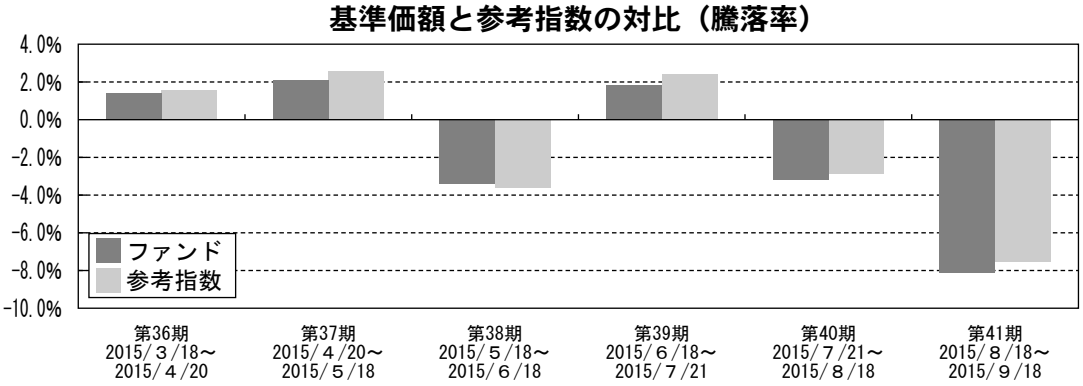
作成期末（2015年９月18日）

最終利回り	8.4%
直接利回り	7.9%
デュレーション	7.0年

・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

（第36期～第41期：2015/３/19～2015/９/18）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
・参考指数はＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ 南アフリカ（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目		第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
		2015年３月19日～2015年４月20日	2015年４月21日～2015年５月18日	2015年５月19日～2015年６月18日	2015年６月19日～2015年７月21日	2015年７月22日～2015年８月18日	2015年８月19日～2015年９月18日
当期分配金		45	45	45	45	45	45
	（対基準価額比率）	0.447%	0.440%	0.457%	0.451%	0.468%	0.512%
	当期の収益	45	45	45	45	45	45
	当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額		1,979	1,991	2,001	2,022	2,023	2,026

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンド＞
◎今後の運用方針
・南アフリカ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

＜南アフリカ債券マザーファンド＞
◎運用環境の見通し
・南アフリカの貿易相手国として重要な欧州の景気低迷や中国の経済成長鈍化、資源価格の低迷など、外部環境は厳しい状況が継続するものとみています。
・一方で、南アフリカ国内においては、中間所得層の増加などを背景に個人消費は比較的堅調な伸びを見せており、外部環境の悪化による影響を一定程度緩和しつつ、底堅い経済成長を維持するものと考えます。
・主要先進国では、日銀や欧州中央銀行など各国中央銀行によって金融緩和政策が維持されていることなどを背景として、世界的に金利が低水準で推移しています。このような環境下、先進諸国との比較で相対的に金利水準が高い南アフリカなどは魅力的な投資先と考えられます。
・ただし、高インフレや経常赤字といったファンダメンタルズの懸念が続いていることに加え、米国金融政策の正常化の時期を巡る思惑などから、不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針
（組入比率）
・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。
（種別構成）
・当面は国債中心の運用とする方針です。
（デュレーション）
・南アフリカの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2015年３月19日～2015年９月18日）

項目	第36期～第41期 金額	第36期～第41期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	69	0.706	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(34)	(0.342)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(34)	(0.342)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.027	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.021)	外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	72	0.733	
作成期中の平均基準価額は、9,809円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年３月19日～2015年９月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第36期～第41期 設定 口数	設定 金額	解約 口数	解約 金額
	千口	千円	千口	千円
南アフリカ債券マザーファンド	3,716	4,497	12,840	15,505

○利害関係人との取引状況等

（2015年３月19日～2015年９月18日）

利害関係人との取引状況

＜Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンド＞

該当事項はございません。

＜南アフリカ債券マザーファンド＞

区　　分	第36期～第41期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	－	－	－	12	10	83.3

平均保有割合　100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
300	－	－	300	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2015年９月18日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	第35期末	第41期末	
	口　　数	口　　数	評　価　額
	千口	千口	千円
南アフリカ債券マザーファンド	260,826	251,701	276,418

○投資信託財産の構成

（2015年９月18日現在）

項　　目	第41期末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
南アフリカ債券マザーファンド	276,418	99.1
コール・ローン等、その他	2,436	0.9
投資信託財産総額	278,854	100.0

（注）南アフリカ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（274,476千円）の投資信託財産総額（277,841千円）に対する比率は98.8%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１南アフリカランド=8.99円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末
	2015年４月20日現在	2015年５月18日現在	2015年６月18日現在	2015年７月21日現在	2015年８月18日現在	2015年９月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	**318,842,279**	**324,662,650**	**315,218,711**	**319,334,992**	**305,684,244**	**278,854,541**
コール・ローン等	1,150,602	1,080,461	1,154,208	1,118,344	1,039,952	1,001,621
南アフリカ債券マザーファンド(評価額)	316,251,508	322,130,912	312,646,489	316,760,493	302,771,598	276,418,868
未収入金	1,440,168	1,451,276	1,418,013	1,456,154	1,872,693	1,434,051
未収利息	1	1	1	1	1	1
(B) 負債	**1,844,870**	**1,767,325**	**1,819,350**	**1,839,998**	**2,191,150**	**1,761,684**
未払収益分配金	1,423,137	1,425,828	1,439,045	1,438,315	1,426,796	1,424,792
未払解約金	9,889	－	－	－	429,309	－
未払信託報酬	410,532	340,405	379,094	400,401	333,974	335,818
その他未払費用	1,312	1,092	1,211	1,282	1,071	1,074
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**316,997,409**	**322,895,325**	**313,399,361**	**317,494,994**	**303,493,094**	**277,092,857**
元本	316,252,817	316,850,768	319,787,987	319,625,597	317,065,943	316,620,602
次期繰越損益金	744,592	6,044,557	△ 6,388,626	△ 2,130,603	△ 13,572,849	△ 39,527,745
(D) 受益権総口数	**316,252,817口**	**316,850,768口**	**319,787,987口**	**319,625,597口**	**317,065,943口**	**316,620,602口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**10,024円**	**10,191円**	**9,800円**	**9,933円**	**9,572円**	**8,752円**

○損益の状況

項　　目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2015年３月19日～2015年４月20日	2015年４月21日～2015年５月18日	2015年５月19日～2015年６月18日	2015年６月19日～2015年７月21日	2015年７月22日～2015年８月18日	2015年８月19日～2015年９月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**38**	**32**	**37**	**40**	**33**	**34**
受取利息	38	32	37	40	33	34
(B) 有価証券売買損益	**4,766,670**	**7,072,592**	**△10,573,833**	**6,089,483**	**△ 9,691,533**	**△24,184,200**
売買益	4,817,599	7,144,616	1,582	6,163,397	25,145	15,304
売買損	△ 50,929	△ 72,024	△10,575,415	△ 73,914	△ 9,716,678	△24,199,504
(C) 信託報酬等	**△ 411,844**	**△ 341,497**	**△ 380,305**	**△ 401,683**	**△ 335,045**	**△ 336,892**
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	**4,354,864**	**6,731,127**	**△10,954,101**	**5,687,840**	**△10,026,545**	**△24,521,058**
(E) 前期繰越損益金	**△ 710,566**	**2,219,597**	**7,521,784**	**△ 4,858,326**	**△ 603,092**	**△12,017,859**
(F) 追加信託差損益金	**△ 1,476,569**	**△ 1,480,339**	**△ 1,517,264**	**△ 1,521,802**	**△ 1,516,416**	**△ 1,564,036**
（配当等相当額）	(10,199,684)	(10,356,492)	(10,965,559)	(11,086,813)	(11,073,617)	(11,154,396)
（売買損益相当額）	(△11,676,253)	(△11,836,831)	(△12,482,823)	(△12,608,615)	(△12,590,033)	(△12,718,432)
(G) 計（D＋E＋F）	**2,167,729**	**7,470,385**	**△ 4,949,581**	**△ 692,288**	**△12,146,053**	**△38,102,953**
(H) 収益分配金	**△ 1,423,137**	**△ 1,425,828**	**△ 1,439,045**	**△ 1,438,315**	**△ 1,426,796**	**△ 1,424,792**
次期繰越損益金（G＋H）	**744,592**	**6,044,557**	**△ 6,388,626**	**△ 2,130,603**	**△13,572,849**	**△39,527,745**
追加信託差損益金	△ 1,476,569	△ 1,480,339	△ 1,517,264	△ 1,521,802	△ 1,516,416	△ 1,564,036
（配当等相当額）	(10,201,258)	(10,358,723)	(10,977,388)	(11,089,227)	(11,074,650)	(11,155,861)
（売買損益相当額）	(△11,677,827)	(△11,839,062)	(△12,494,652)	(△12,611,029)	(△12,591,066)	(△12,719,897)
分配準備積立金	52,388,658	52,749,425	53,027,125	53,543,881	53,095,557	53,018,769
繰越損益金	△50,167,497	△45,224,529	△57,898,487	△54,152,682	△65,151,990	△90,982,478

（注）**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞

①作成期首（前作成期末）元本額　316,868,034円
　作成期中追加設定元本額　6,081,321円
　作成期中一部解約元本額　6,328,753円
②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は39,527,745円です。
③分配金の計算過程

項　　目	2015年３月19日～2015年４月20日	2015年４月21日～2015年５月18日	2015年５月19日～2015年６月18日	2015年６月19日～2015年７月21日	2015年７月22日～2015年８月18日	2015年８月19日～2015年９月18日
費用控除後の配当等収益額	2,012,935円	1,823,486円	1,738,556円	2,097,005円	1,480,473円	1,517,877円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	10,201,258円	10,358,723円	10,977,388円	11,089,227円	11,074,650円	11,155,861円
分配準備積立金額	51,798,860円	52,351,767円	52,727,614円	52,885,191円	53,041,880円	52,925,684円
当ファンドの分配対象収益額	64,013,053円	64,533,976円	65,443,558円	66,071,423円	65,597,003円	65,599,422円
１万口当たり収益分配対象額	2,024円	2,036円	2,046円	2,067円	2,068円	2,071円
１万口当たり分配金額	45円	45円	45円	45円	45円	45円
収益分配金金額	1,423,137円	1,425,828円	1,439,045円	1,438,315円	1,426,796円	1,424,792円

○分配金のお知らせ

	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
１万口当たり分配金（税込み）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◆分配金は各決算日から起算して５営業日までにお支払いを開始しております。
◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
◆課税上の取り扱い

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。
※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
※少額投資非課税制度「愛称：ＮＩＳＡ（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

＊三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（http://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

［お 知 ら せ］

①2015年７月１日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（2015年７月１日）
②2014年１月１日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15％に2.1％の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％（法人受益者は15.315％の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年９月18日現在）

＜南アフリカ債券マザーファンド＞

下記は、南アフリカ債券マザーファンド全体(251,701千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債　種類別開示

区分	第41期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	%	%	%	%	%
南アフリカ	32,650	29,230	262,781	95.1	－	85.9	9.2	－
合計	32,650	29,230	262,781	95.1	－	85.9	9.2	－

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			第41期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
南アフリカ			%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	10.5	7,050	8,059	72,457	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	6.25	8,900	6,609	59,420	2036/３/31
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	6.5	6,600	4,926	44,293	2041/２/28
		6.75 SOUTH AFRICA 210331	6.75	5,400	5,066	45,544	2021/３/31
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	7.25	2,600	2,526	22,715	2020/１/15
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	7.75	1,800	1,739	15,634	2023/２/28
		8 SOUTH AFRICA 181221	8.0	300	302	2,715	2018/12/21
合計						262,781	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

南アフリカ債券マザーファンド

《第３期》決算日2015年３月18日

［計算期間：2014年３月19日～2015年３月18日］

「南アフリカ債券マザーファンド」は、３月18日に第３期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第３期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、南アフリカの国債、政府機関債、政府保証債ならびに南アフリカランド建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	南アフリカランド建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ南アフリカ		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率	（円ベース）	期中騰落率			
（設定日）	円	%		%	%	%	百万円
2012年４月10日	10,000	－	355.96	－	－	－	299
１期(2013年３月18日)	11,269	12.7	406.61	14.2	97.1	－	322
２期(2014年３月18日)	10,292	△ 8.7	370.94	△ 8.8	96.4	－	294
３期(2015年３月18日)	12,035	16.9	432.53	16.6	96.0	－	313

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
（注）基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
（注）ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ 南アフリカ（円ベース）は、ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）のサブインデックスです。ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）とは、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。
（注）外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）JPモルガンGBI－EM南アフリカ（円ベース）		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		騰落率		
（期首）	円	%		%	%	%
2014年3月18日	10,292	－	370.94	－	96.4	－
3月末	10,747	4.4	386.62	4.2	95.4	－
4月末	10,745	4.4	386.82	4.3	96.0	－
5月末	11,012	7.0	396.48	6.9	95.9	－
6月末	10,826	5.2	388.38	4.7	95.6	－
7月末	11,004	6.9	395.91	6.7	96.3	－
8月末	11,412	10.9	410.09	10.6	96.3	－
9月末	11,225	9.1	403.84	8.9	96.7	－
10月末	12,000	16.6	430.88	16.2	96.5	－
11月末	13,073	27.0	470.69	26.9	95.0	－
12月末	12,425	20.7	448.02	20.8	92.5	－
2015年1月末	13,170	28.0	475.58	28.2	96.4	－
2月末	12,940	25.7	467.71	26.1	96.2	－
（期末）						
2015年3月18日	12,035	16.9	432.53	16.6	96.0	－

（注）騰落率は期首比。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

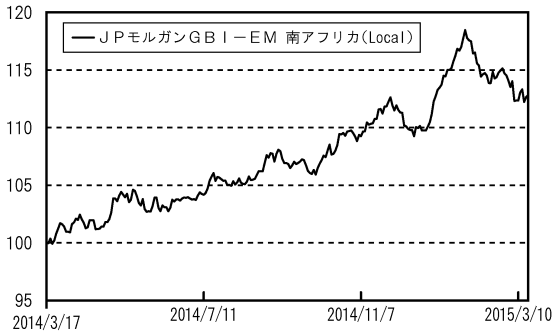
基準価額は期首に比べ16.9%の上昇となりました。

基準価額の推移

（注）参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

市況の推移
（期首を100として指数化）



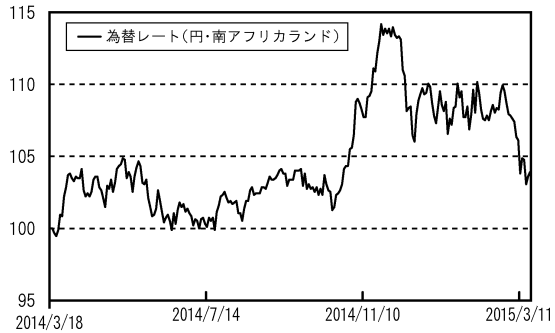
（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・南アフリカの債券市場では、金利は低下（債券価格は上昇）しました。世界経済の先行き不透明感の高まりやインフレ期待の低下などを背景に先進各国の長期金利が低下するなか、投資家の高利回り債を選好する動きが強まったことから、南アフリカなどの新興国債券の金利も低下圧力を受けました。

●投資環境について

為替市況の推移
（期首を100として指数化）



◎為替市況

・南アフリカランドは対円で上昇（円安）しました。2014年10月から12月にかけて、日銀による「量的・質的金融緩和」の拡大などから円が大きく売られる一方、世界経済の先行き不透明感の高まりを受けた投資家のリスク回避傾向の強まりから円が買い戻されるなど、値動きの荒い展開となり、期を通じてみると南アフリカランドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
・中期的にインフレが落ち着く方向にあると考えたことや、先進各国の金融緩和を背景に新興国債券の金利も低下圧力を受けやすいと考えたことから、2014年11月下旬にデュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考指数比中立から長めに変更しました。その後、12月半ばには原油安を背景とした世界的なリスク回避局面のなかで新興国資産全般に対する資金流出の圧力が強まり、金利は上昇圧力を受けやすい展開となったことから、デュレーションを参考指数比中立に変更しました。
・前記の運用の結果、デュレーションを参考指数比長めにコントロールしていた期間において南アフリカの金利が上昇したことが、参考指数比マイナスに影響しましたが、債券の利子収入に加え、南アフリカの金利が低下したことや、南アフリカランドが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・南アフリカの貿易相手国として重要な欧州の景気低迷や中国の経済成長鈍化、資源価格の低迷など、外部環境は厳しい状況が継続するものとみています。
・一方で、南アフリカ国内においては、中間所得層の増加などを背景に個人消費は比較的堅調な伸びを見せており、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、底堅い経済成長を維持するものと考えます。
・主要先進国では、日銀や欧州中央銀行など各国中央銀行による金融緩和政策の強化などを背景として、世界的に金利が低水準で推移しています。このような環境下、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高い南アフリカなどへの資金流入は、今後強まる可能性が高いとみています。
・ただし、高インフレや経常赤字といったファンダメンタルズの懸念が続いていることに加え、米国金融政策の正常化の時期を巡る思惑などから、不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

（組入比率）

・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

・当面は国債中心の運用とする方針です。

（デュレーション）

・南アフリカの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○１万口当たりの費用明細

(2014年３月19日～2015年３月18日)

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	7	0.057	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.050)	外国での資産の保管等に要する費用
（その他）	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	7	0.057	
期中の平均基準価額は、11,714円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年３月19日～2015年３月18日)

公社債

			買付額	売付額
外国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 12,727	千南アフリカランド 13,372

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

○利害関係人との取引状況等

(2014年３月19日～2015年３月18日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	1	－	－	31	26	83.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京ＵＦＪ銀行です。

○組入資産の明細

(2015年３月18日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	%	%	%	%	%
南アフリカ	32,150	30,693	301,411	96.0	－	79.3	16.8	－
合計	32,150	30,693	301,411	96.0	－	79.3	16.8	－

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
南アフリカ			%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	10.5	7,050	8,426	82,752	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	6.25	8,900	6,990	68,645	2036/３/31
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	6.5	3,900	3,097	30,421	2041/２/28
		6.75 SOUTH AFRICA 210331	6.75	5,000	4,819	47,330	2021/３/31
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	7.25	2,600	2,586	25,394	2020/１/15
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	7.75	2,000	2,002	19,668	2023/２/28
		8 SOUTH AFRICA 181221	8.0	2,300	2,358	23,155	2018/12/21
		8.25 SOUTH AFRICA 170915	8.25	400	411	4,041	2017/９/15
小計						301,411	
合計						301,411	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2015年３月18日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	301,411	95.7
コール・ローン等、その他	13,434	4.3
投資信託財産総額	314,845	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（313,434千円）の投資信託財産総額（314,845千円）に対する比率は99.6%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1南アフリカランド=9.82円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年３月18日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	314,845,721
コール・ローン等	6,692,101
公社債(評価額)	301,411,697
未収利息	6,315,923
前払費用	426,000
(B) 負債	945,273
未払解約金	945,273
(C) 純資産総額(A－B)	313,900,448
元本	260,826,167
次期繰越損益金	53,074,281
(D) 受益権総口数	260,826,167口
１万口当たり基準価額(C／D)	12,035円

<注記事項>
①期首元本額 286,108,872円
期中追加設定元本額 12,254,060円
期中一部解約元本額 37,536,765円

○損益の状況 (2014年３月19日～2015年３月18日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	24,451,724
受取利息	24,451,724
(B) 有価証券売買損益	24,787,655
売買益	25,763,190
売買損	△ 975,535
(C) 保管費用等	△ 182,148
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	49,057,231
(E) 前期繰越損益金	8,344,964
(F) 追加信託差損益金	1,900,278
(G) 解約差損益金	△ 6,228,192
(H) 計(D＋E＋F＋G)	53,074,281
次期繰越損益金(H)	53,074,281

(注) (B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
Ｎａｖｉｏ 南アフリカ債券ファンド 260,826,167円

[お 知 ら せ]
①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月１日)
②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月１日)
③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月１日)
④新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月１日)
⑤デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。
(2014年12月１日)